

令和4年7月1日

各都道府県市区町村教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係 係 各 位

全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会
会 長 池江 浩一郎
第66回九州地区中学校技術・家庭科教育研究会大会
大会運営委員長 亀谷 勝弘

第66回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会
第59回 福岡県中学校技術・家庭科研究大会
福岡大会のご案内(最終案内)

このたび、第66回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会を福岡県で開催することになりました。
本県では、『未来を見据え、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる技術・家庭科教育』を研究主題に学習活動を展開し、本教科の一層の充実を目指して研究を進めてまいりました。

この機会に多くの皆さま方にご参加いただき、ご意見、ご指導を賜りますようご案内申し上げます。

大会開催要項

- 1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会
福岡県中学校技術・家庭科研究会
- 2 後援 福岡県教育委員会
福岡市教育委員会 北九州市教育委員会
久留米市教育委員会 大牟田市教育委員会 広川町教育委員会
みやま市教育委員会 大木町教育委員会
福岡県中学校校長会 福岡県教育文化奨学財団
福岡県産業教育振興会 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福岡支部
公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会
- 3 期日 令和4年10月31日(月)～11月2日(水)

4 日程・会場

- 10月31日(月) 【理事会】ホテルニュープラザ久留米
- 11月1日(火) 【分科会】第1分科会 広川中 第2分科会 田隈中
第3分科会 高田中 第4分科会 大木中

| | | | | | | | | | |
|------|------------|------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 9:45 | 10:35 | 10:50 | 12:00 | 13:00 | 15:30 | 16:00 | 16:20 |
| 受付 | リエン ション | 公開授業 | 休憩 | 授業研究会 | 昼食 | 研究発表 研究協議 | 指導助言 | 閉会 | |

- 11月2日(水) 【全体会】石橋文化センター

| | | | | | |
|------|------|-------|-------|----------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 12:20 |
| 受付 | 開会行事 | 研究発表 | 指導講評 | 閉会 行事 | |

5 研究主題 『未来を見据え、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる技術・家庭科教育』
～未来と対話する場を設定した授業展開を通して～

6 主題設定の理由

科学技術のめざましい発展に伴い、生活は豊かで便利なものへと変化してきた。これらは、生活を豊かにしたいという人間の夢を科学技術が実現してきた結果である。しかし、科学技術の発展は負の側面も生み出した。地下資源とエネルギーの大量消費、環境汚染等といった直接的な問題や、生産年齢人口の減少やグローバル化、少子高齢社会の進展等の問題も発生し、記録的な豪雨災害や気温上昇、そして新型コロナウイルス感染症対策等新たな問題が山積している。

そのような中、経済発展と社会的課題の解決を両立する、我が国が目指すべき未来の姿として Society5.0 が提唱されている。文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力と新たな社会を牽引する人材が求められている。

これらの現状を受けて、平成二十九年度告示の新学習指導要領では、身に付けた知識・技能をどのように社会や生活の中で生かすかという思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力・人間性の育成の重要性が示されている。これまでの知識・技能の習得に重点を置く学習指導ではなく、身に付けた力を実際の生活やこれからの社会の中で発揮していこうとする資質・能力の育成に重点を置く学習指導が求められている。そこで、本教科のねらいを踏まえ、未来のために必要な課題を見出し、課題解決のために生活を工夫し創造することができる生徒を育てたいと考えて本研究主題を設定した。

7 講師

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

情報教育振興室 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

渡邊 茂一 様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

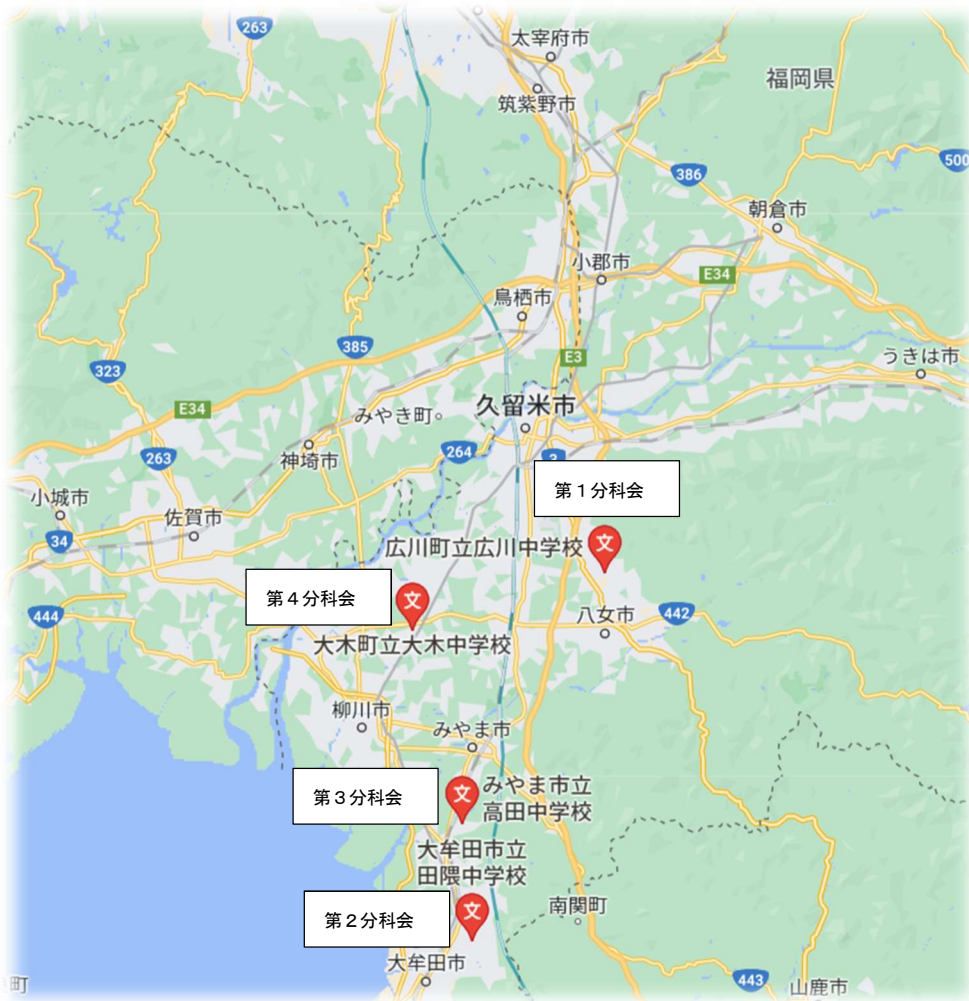
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

熊谷 有紀子 様

8 公開授業・研究発表・指導助言

| 第1分科会 (技術分野 A 材料と加工 B 生物育成) | | 第2分科会 (家庭分野 B 衣食住の生活) | |
|-----------------------------|---|----------------------------------|--|
| 授業者 | B 生物育成の技術 西木 崇 (広川町立広川中学校) | 授業者 | B 衣食住の生活 今別府 りか (大牟田市立田隈中学校) |
| 発表者 | ①福岡県 A 材料と加工の技術 守江 達彦 (那珂川市立 那珂川南中学校) | 発表者 | ①福岡県 B 衣食住の生活 瀬口 智子 (北九州市立高生中学校) 波多野 亜未 (北九州市立菊陵中学校) |
| | ②沖縄県 A 材料と加工の技術 阿波根 欣 (うるま市立彩橋中学校) | | ②鹿児島県 B 衣食住の生活 前田 李恵 (鹿児島市立南中学校) |
| 第3分科会 (技術分野 C エネルギー変換 D 情報) | | 第4分科会 (家庭分野 A 家族・家庭生活 C 消費生活・環境) | |
| 授業者 | C エネルギー変換の技術 水門 博一 (みやま市立高田中学校) | 授業者 | C 消費生活・環境 井上 百合恵 (大木町立大木中学校) |
| 発表者 | ①福岡県 D 情報の技術 藤川 満久 (福岡市立原中央中学校) | 発表者 | ①福岡県 A 家族・家庭生活 松尾 慶子 (鞍手町立鞍手中学校) |
| | ②佐賀県 C エネルギー変換の技術 富永 修 (鹿島市立西部中学校) | | ②宮崎県 C 消費生活・環境 河野 萌木 (延岡市立東海中学校) 川添 堇 (延岡市立土々呂中学校) |
| 紙上発表 | 大分県 技術A 材料と加工の技術 石田 誠一 (竹田市立都野中学校) | 紙上発表 | 長崎県 家庭B 衣食住の生活 本山 貴美 (佐世保市立日宇中学校) |

| | | | | | |
|-------|---|----|----|------------|--|
| 第3分科会 | 技術分野：C エネルギー変換の技術 | | | みやま市立高田中学校 | |
| 授業者 | 水門 博一 | 学年 | 2年 | | |
| 題材名 | よりよいエネルギー変換の技術 | | | | |
| 授業の概要 | <p>前時までに電気エネルギーの恩恵と課題からエネルギー変換の功罪について意見交流を行い、効率について考えてきた。本時は4種類の異なる技術を用いた製品で湯沸かし実験を行い、エネルギー変換効率の考察を行う。小集団で意見をまとめ全体で発表をする場を設定し、各機器の特徴を知らせながら内容を深めることで、これからもよりよい技術が造られていくことを理解させる。</p> | | | | |
| | | | | | |
| 第4分科会 | 家庭分野：D 消費生活・環境 | | | 大木町立大木中学校 | |
| 授業者 | 井上 百合恵 | 学年 | 2年 | | |
| 題材名 | エシカルな消費を目指そう | | | | |
| 授業の概要 | <p>地球環境や社会に配慮した責任ある消費者になることを目指し、自分たちができることを考えさせる。衣・食生活におけるエシカル消費の具体例についてまとめた小集団ごとの意見を発表させ、それに対する質疑応答の場を設定し内容を深めていく。これからの生活の中でできるエシカル消費について学級全体で交流し、消費者として責任ある行動をすることが、持続可能な社会の実現につながっていることを考えさせる。</p> | | | | |
| | | | | | |



※分科会会場までのシャトルバスを準備する予定です。出発時間は参加券郵送時にお知らせいたします。

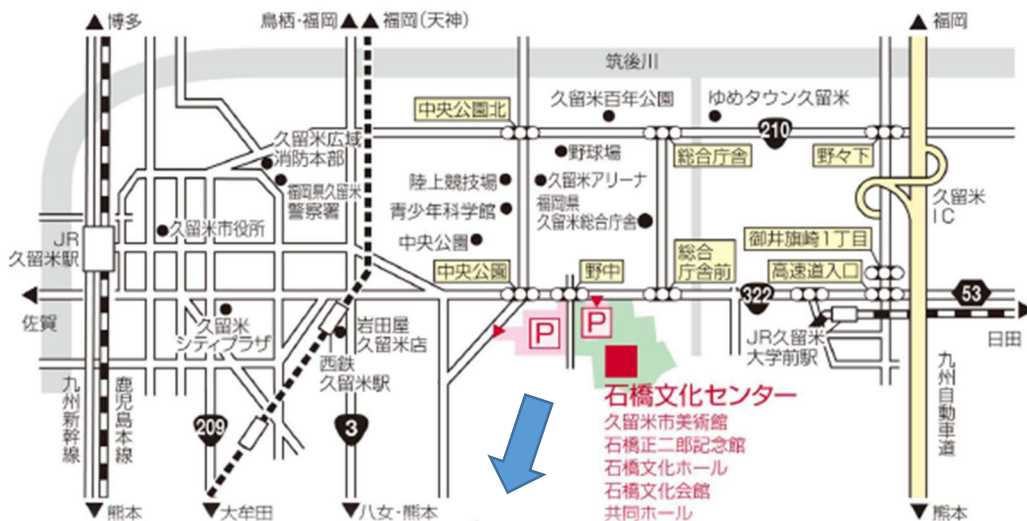
第1分科会：JR 筑後船小屋駅→広川町立広川中学校

第3分科会：JR 筑後船小屋駅→みやま市立高田中学校

第4分科会：JR 筑後船小屋駅→大木町立大木中学校

第2分科会：JR 大牟田駅→大牟田市立田隈中学校

14 全体会場案内 石橋文化センター



- 西鉄久留米駅より
 - ・徒歩 約10分
 - ・バス 約5分「文化センター前」下車
 - JR久留米駅より
 - ・バス 約15分「文化センター前」下車
 - 自家用車
 - ・久留米インターより約10分
 - 駐車場(有料)／普通車221台
- 詳しくは石橋文化センターHPをご覧ください

会場所在地等

| | 学校名等 | 郵便番号 | 住所 | 電話番号 |
|-------|------------|----------|--------------------|--------------|
| 第1分科会 | 広川町立広川中学校 | 834-0112 | 福岡県八女郡広川町大字久泉837 | 0943-32-0132 |
| 第2分科会 | 大牟田市立田隈中学校 | 837-0916 | 福岡県大牟田市大字田隈338 | 0944-53-6040 |
| 第3分科会 | みやま市立高田中学校 | 839-0223 | 福岡県みやま市高田町岩津326 | 0944-22-5411 |
| 第4分科会 | 大木町立大木中学校 | 830-0417 | 福岡県三潴郡大木町大字上八院1234 | 0944-32-0493 |
| 全体会 | 石橋文化センター | 839-0862 | 福岡県久留米市野中町1015 | 0942-33-2271 |

15 大会申込みについて

(1) 福岡県外からの参加者

- 参加者個人様 : 各県事務局に直接お申してください。
提出物 ① 参加申込書（郵送またはFAXまたはGoogleform）
② 諸経費（振込先 各県事務局：申込用紙に記載）
※ 振込手数料は各自ご負担をお願いします。
申込締切 令和4年9月20日（火）
※ 大会開催2週間前を目安に、福岡県事務局より参加券、弁当引換券等を送付いたします。

- 各県事務局様 : 別紙の申込書に必要事項を記入の上、福岡県事務局へメールでご送付ください。諸経費も各県で一括してお支払いください。振込手数料は各県事務局でご負担をお願いします。
申込締切 令和4年9月30日（金）

(2) 福岡県内の参加者

- 参加者個人様 : 各地区事務局長に直接お申してください。
提出物 ① 参加申込書（郵送またはFAXまたはGoogleform、できるだけGoogleformをご利用ください。）
② 諸経費（振込先 福岡県事務局：申込用紙に記載）
※ 振込手数料は各自ご負担をお願いします。
申込締切 令和4年9月12日（月）
※ 大会開催2週間前を目安に、福岡県事務局より参加券、弁当引換券等を送付いたします。
- 各地区事務局長様 : 別紙の申込書に必要事項を記入の上、福岡県事務局へメールでご送付ください。
申込締切 令和4年9月20日（火）

(3) 県内外共通申し込みフォーム

Google フォーム URL : <https://forms.gle/Cc6xz8fg27ekGqL99>



(4) その他

今大会では、宿泊等のご案内をしておりません。申し訳ありませんが各自でご準備をお願いします。ご不明な点がございましたら、大会事務局まで連絡ください。